

現代の図書館 第49巻 (2011) 総目次

・No.1 (3月刊行)

特集：図書館ワーキングプア雇用への＜非正規＞分布

基幹化する図書館の非正規職員—図書館ワーキングプアを越えて	上林陽治	3
司書有資格者のワーキングプア問題—専門職労働市場の構築に向けて	松井祐次郎	12
非正規職員の現在と未来—基幹化と階層化の中で	小形 亮	19
図書館スタッフ雇用の現状と課題	坂本成生	34
大学図書館の外部委託化を失敗させないために	大学図書館支援機構事務局	42
図書館、非正規で働いて	小川恭平	51
学校図書館における非正規雇用職員	高橋恵美子	59
専門図書館における非正規職員活用の現状	長谷川昭子	64

投稿

県立図書館の存在意義を問い直す—「県立図書館不要論」必要論	加藤和英	72
-------------------------------	------	----

編集後記	80
------	----

・No.2 (6月刊行)

特集：図書館における全文テキストデータの可能性について

電子書籍を読書障壁にしないために—出版社と国立国会図書館への期待	石川 准	83
OCR 技術の基礎および図書館におけるテキスト化への応用	横田和章	89
冊子からテキストへ—文字コードがもたらすものと強いるもの	富田倫生	95
全文テキスト化の技術	高木啓伸	104
全文テキスト検索技術—サービスの最新動向	安辺川武	117
音声読み上げ技術 TTS がもたらすもの	三瓶 徹	125
『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の設計	山崎 誠	133
視覚障害者の科学技術文書アクセシビリティについて	山口雄仁	140
電子書籍フォーマット EPUB3 の理念	村田 真	147

編集後記	156
------	-----

・No.3 (9月刊行)

特集：災害と情報・メディア

ソーシャルメディアは震災対応にどう影響したか	佐々木俊尚	159
「saveMLAK：博物館・美術館、図書館、文書館、公民館の被災・救援情報」における活動の経緯と展望	楠木あずさ、江草由佳、山村真紀、筒井弥生、神代 浩	165
「支援訓練」による減災を一東日本大震災の流言検証者より、後世へのメッセージ	荻上チキ	173
バベルの塔の崩壊—科学の「限界」とこれからの社会について	八代嘉美	180
震災関連資料の収集とその活用—被災地にある図書館の責務として	松永憲明	185
明星大学の新しい司書課程	二村 健	192
明治大学司書課程における司書養成の取り組み	青柳英治	196
「都道府県立図書館への無償提供を求める政府刊行資料に関するアンケート調査」の結果について（報告）	日本図書館協会図書館政策企画委員会	201

編集後記	208
------	-----

No.4 (12月刊行)

小特集：デジタル化時代の識別子

機関の識別子と図書館	兼松芳之	211
著者の識別子	蔵川 圭	219
新しい図書館司書課程への移行対応と司書養成教育をめぐる問題	平野英俊	227
亜細亜大学における改正司書養成科目への対応	阿形 輝	232
図書館における指定管理者制度の導入の検討結果について	2011 年調査（報告）	
	日本図書館協会図書館政策企画委員会	236
年表・全国図書館大会の歩み—第34回（1948年）～第96回（2010年）	日本図書館協会企画調査部	242
『現代の図書館』掲載記事一覧—2002年～2011年		256